

# 令和元年度 第30回関東高等学校バスケットボール新人大会

令和2年2月8日(土) 男子 1回戦 小瀬スポーツ公園体育館 Bコート 第4試合

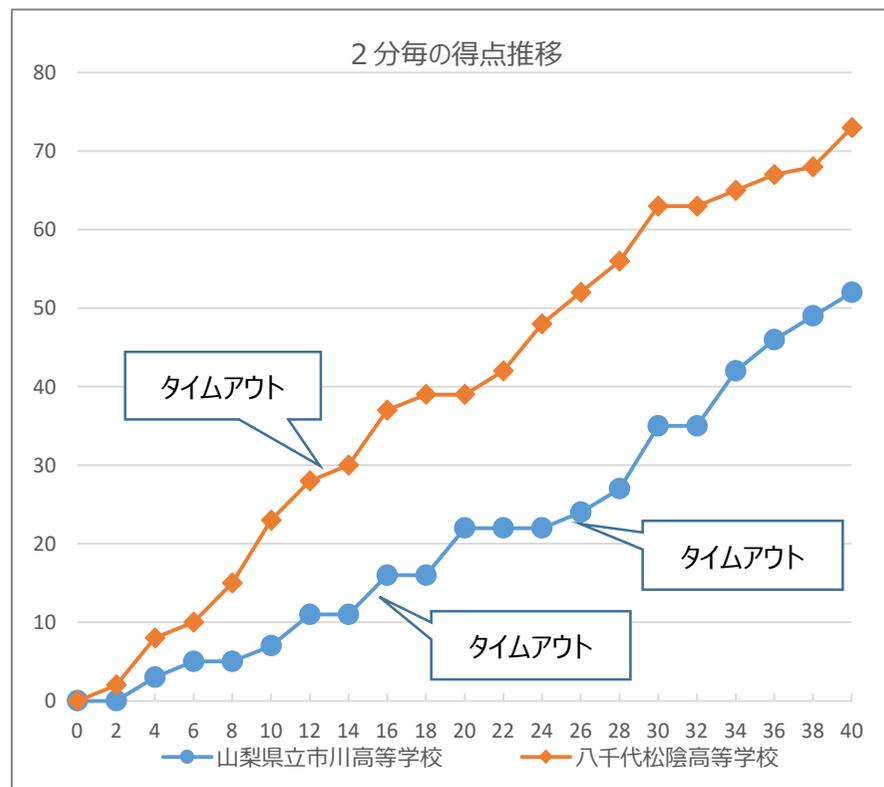
チームA 山梨県立市川高等学校 (山梨県)	52	7 1st 23	73	チームB 八千代松陰高等学校 (千葉県)
		15 2nd 16		
		13 3rd 24		
		17 4th 10		
		OT		

## Aチーム： 山梨県立市川高等学校

	S	No.	氏名	PTS	3P FG		2P FG		FT		F	REBOUNDS		
					M	A	M	A	M	A		OR	DR	ムアウ
1		10	神野 朔弥											
2		11	守屋 巧登	2	0	1	1	2	0	0	2	2	0	2
3	*	12	手塚 奨也	14	2	11	3	6	2	4	2	2	2	4
4		13	櫻井 廉	9	3	11	0	2	0	0	1	2	1	3
5		14	廣瀬 樹弘											
6		15	磯貝 駿	2	0	0	1	1	0	0	5	1	5	6
7	*	16	鈴木 琉沙	4	0	1	2	4	0	3	5	1	5	6
8	*	17	小菅 音緒	4	0	2	2	6	0	0	1	2	2	4
9	*	18	天野 智裕	6	2	14	0	3	0	0	2	1	10	11
10		19	俵 光希											
11		22	有井 慎司郎											
12		24	鈴木 太介	3	1	3	0	1	0	4	0	0	2	2
13	*	26	藤井 颯斗	1	0	2	0	3	1	1	1	0	0	0
14		27	佐野 颯	5	1	2	1	3	0	0	0	0	3	3
15		29	野澤 颯太	2	0	0	1	4	0	0	2	2	1	3
HC/TEAM			吉川 仁										2	2
合計				52	9	47	11	35	3	12	21	13	33	46

## Bチーム： 八千代松陰高等学校

	S	No.	氏名	PTS	3P FG		2P FG		FT		F	REBOUNDS		
					M	A	M	A	M	A		OR	DR	ムアウ
1	*	4	落合 拓海	11	1	3	4	10	0	2	0	3	4	7
2	*	5	小河原 幹太	15	0	0	7	11	1	2	2	8	5	13
3	*	6	都築 凌治	11	2	10	2	12	1	2	1	3	11	14
4		7	佐々木 雄大	1	0	0	0	3	1	2	0	3	0	3
5	*	8	金川 藍流	0	0	0	0	0	0	0	4	2	3	5
6	*	9	石井 悠斗	14	4	11	1	4	0	0	0	0	4	4
7		10	日笠 棕介	0	0	0	0	0	0	0	1	0	3	3
8		11	石田 凌大	2	0	0	1	2	0	0	0	0	0	0
9		12	矢野 智士	1	0	1	0	0	1	2	0	0	0	0
10		13	黒田 清翔	5	1	1	1	1	0	0	1	1	2	3
11		14	前田 晃佑	6	0	0	2	4	2	4	0	0	1	1
12		15	塚本 尊久	2	0	0	1	1	0	0	0	0	2	2
13		16	三上 泰知	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
14		17	新井 鈴温	5	0	0	2	7	1	2	3	2	0	2
15		18	金田 蒼司	0	0	2	0	0	0	0	1	0	4	4
HC/TEAM			堀田 貴司									1	1	2
合計				73	8	28	21	55	7	16	13	23	40	63



## 戦評

記者：植松光和（山梨県高体連）

1Q、両者ともマンツーマンでスタート。序盤両者とも堅さが目立ち得点の取れない時間が続く。八千代松陰#4のドライブ、#5のリバウンドシュートで0-8となり市川は5人全員を交代。その後、市川は#24の3Pからリズムチェンジを図るが、八千代松陰#5のインサイドに対し市川#29が連続でファールしFTを与える。市川は再び#12と#18をコートに戻すが八千代松陰の流れが止められず7-23で1Q終了。

2Q、市川はオールコートから1-2-2ゾーンにディフェンスを変え攻撃の糸口を掴もうと試みる。得点の止まった八千代松陰は11-28となったところでタイムアウトを取り、立て直しを図る。その後、11-33とリードを広げたところで今度は市川がタイムアウト、ゾーンプレスを仕掛け、#18の3Pや攻守などでいくついき得点を重ね、22-39で終了。

3Q、市川はオールコートプレスから仕掛け続けるが、八千代松陰は#6の3P、#8、#17のジャンプショットやゴール下などを落ち着いて沈めて24-50とリードを広げる。市川は5人交代やタイムアウトで反撃のチャンスを伺うが、八千代松陰はその間、選手を交代しながらも着実に得点を重ね、35-63で3Q終了。

4Q、落ち着いてゲームを進める八千代松陰が控え選手を含め、全員バスケットでそのまま市川を振り切り52-

主審	第1副審	第2副審
石崎公一（群馬県）	小泉登（埼玉県）	三角峻（神奈川県）